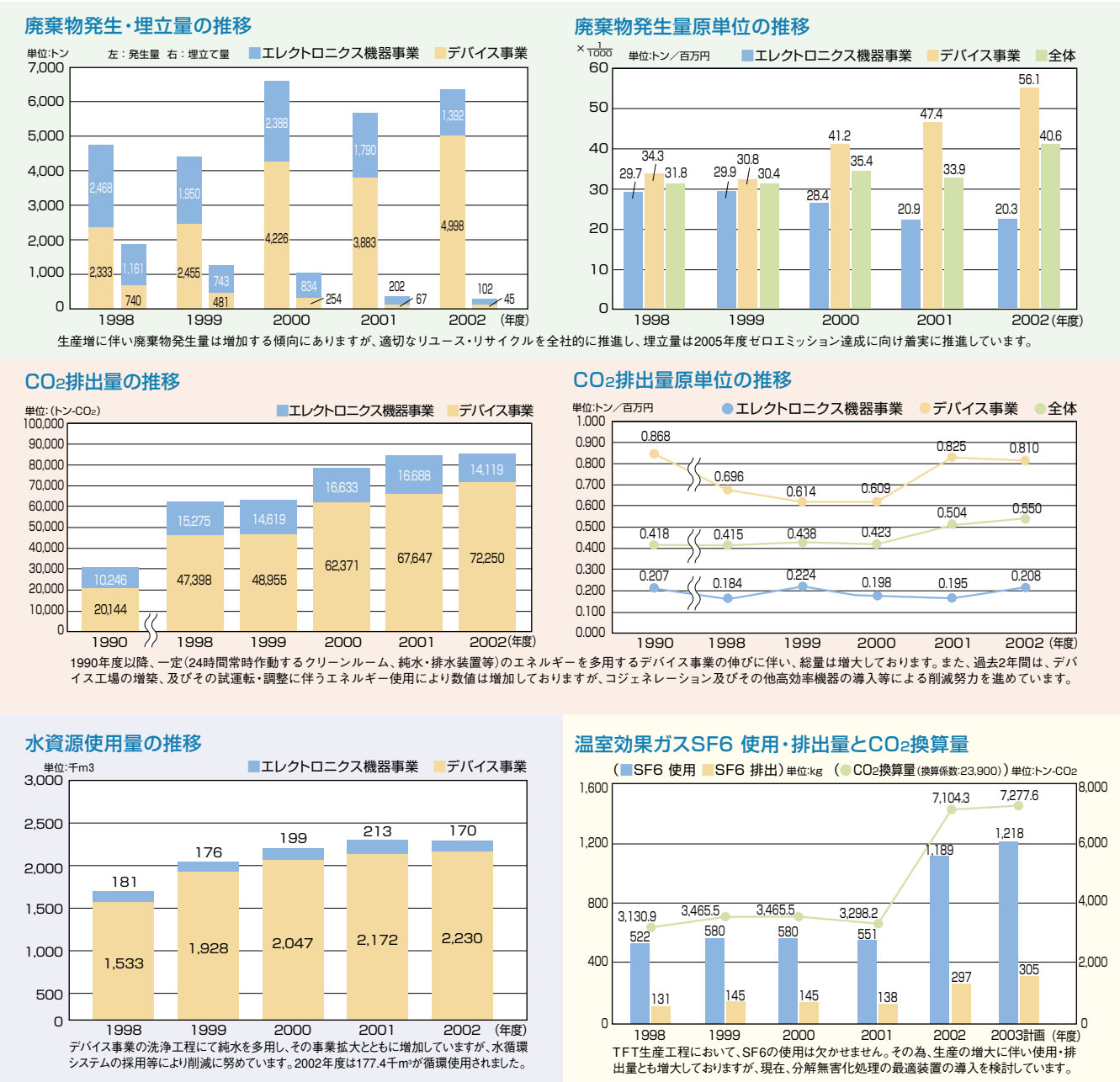


環境パフォーマンスデータ

環境パフォーマンスについては、カシオグループとして環境負荷が大きいと思われる項目を取りあげました。



PRTR法に基づく排出・移動量

		(単位:トン)											
第一種 指定 化学物質名	物質 番号	2001年度											
		トン以上 使用事業 所数	取扱量	排 出 量				移動量	消費量	除去 処理量	リサイ クル量	トン以上 使用事業 所数	取扱量
				大気	公共用 水域	事業所内 土壌	事業所内 埋立処分						
アンチモン及びその化合物	25	1	2.84					0.14	2.7			1	2.25
エチルベンゼン	40	1	5.21								5.21	1	13.23
エチレンジクロール	43	1	1.78					1.78					1.98
キシレン	63	2	43.36	5.94				37.42					46.15
酢酸2-エトキシエチル	101	3	9.85	3.27				6.59					6.38
1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン	132	1	3.14	2.54							0.60	カシオグループでは、使用を廃止しています	
チオ尿素	181	2	9.46					9.46				2	12.22
銅水溶性塩	207	2	23.79	0.04				23.75				2	17.41
トルエン	227	1	2.01	2.01									2.72
鉛及びその化合物	230	1	1.32						1.28	0.04		1	2.49
ふっ化水素及びその水溶性塩	283	1	6.89	3.83							3.07	1	11.17

※特定第一種指定化学物質は、使用していません。 ※空欄:取扱い量がゼロを示す。 ※2002年度は2001年度に比較して、デバイス事業の増産により取扱い量は増加しましたが、大気中への拡散を防止する閉鎖型処理設備の導入等により、大気への排出量は減少し、廃棄物、リサイクル量が増加しています。